

1. 調査の目的

ウェットランド（WL）調査では、灰塚ダムの「知和ウェットランド」に生息する鳥類種を継続的に記録しています。

2. 調査の実施状況

(1) 調査の実施日

今年度の初夏調査は鳥類が渡りや繁殖でWLを利用する時期に合わせて設定しました。

調査時期	月 日
冬季	平成 21 年 1 月 24～25 日
春季	平成 21 年 5 月 22～24 日
初夏季	平成 21 年 6 月 10～12 日
秋季①	平成 21 年 10 月 実施予定
秋季②	平成 21 年 11 月 実施予定
平成 22 年（冬・春・夏・秋①・秋②）実施予定	

(2) 調査の方法

WL 内に設定した5つの調査区に出現する鳥の種と数を記録しました。



知和ウェットランド

調査区



朝・昼・午後は双眼鏡、望遠鏡を使って調査



夜間は主に鳴声を頼りに調査

3. 調査結果

今回の調査では、合計 8 目 21 科 34 種を確認しました。

WL が高草草地の豊富な湿地環境になったときに多数の確認が期待できる種（WL 指標種）に指定しているヒクイナとオオヨシキリが渡来していました。2種とも WL で繁殖している可能性があります。また、繁殖のために南から日本へやってきた夏鳥として、ブッポウソウを確認しました。ブッポウソウは WL に設置した巣箱に入入りしていました。また、猛禽類のサシバが WL 上空で餌を探しながら飛んだり、餌を運んだりしていました。

以前より WL の開放水面をねぐらや休憩場所として利用しているカワウについては、今回切り株の上で 130 羽ほどが羽を休めていました。

ウェットランドの留鳥と夏鳥

サシバ

春に南から渡ってきて日本で繁殖する夏鳥の猛禽類です。カエルやトカゲを好んで食べます。WL のすぐそばで巣および案内にヒナがいるのを確認しています。このサシバは足に餌をつかんで、WL の上空を飛んで巣のほうへと向かいました。



6/12 撮影

オオヨシキリ (WL 指標種)

ヨシ原に渡来する夏鳥です。アシなどの先端にとまって「ギョギョシ」と鳴くのを見ることが出来ます。5月の調査でも本種を同じ場所で確認しており、当地で繁殖している可能性があります。

ヒクイナ (WL 指標種)

水田や湿地や小川の草むらやヨシ原にいます。キョッ、キョッ、という特徴的な声で鳴きます。5月の調査でも本種を同じ場所で確認しており、当地で繁殖している可能性があります。

ブッポウソウ

灰塚ダムでは、一帯に架けられた巣箱を利用して繁殖しています。飛んでいる虫などを食べます。今回調査時には、WL 一帯に架けられた巣箱のうち、4 つにブッポウソウが入りしていました。



6/12 撮影

谷戸地区

開放水面



6/11 撮影

カワウ

WL で一年中みることのできる留鳥です。開放水面にある切り株の上で羽を休めています。この切り株は、もともとカワウがねぐらとして利用していた枯れ木を昨年の秋に伐採したものです。伐採後、カワウは湖岸の林でねぐらをとるようになりました。今月の調査時には、カワウは昼間はこの場所で 130 羽程度が休んでいたものの、夜間はこの冬のねぐらであった湖岸の林からいなくなっていました。どこかにねぐらを移した可能性があります。

知和沼沢地